

2005年11月東北支部常議員会議事録（案）

日 時：2005年11月14日（月）15:00-17:00

場 所：日本建築学会東北支部会議室

出席者：近江，船木，大野，込山，野内，横山，山畑

《資料》

資料1 2005年10月常議員会議事録

資料2 2006年度日本建築学会設計競技支部審査員の報告

資料3 9,10月会計報告

資料4 2006年度日本建築学会東北支部研究報告会・論文募集要項

資料5 「作品選集2007」支部審査員の選定について

資料6 「みちのくの風秋田2006」準備メモ

資料7 2006年度総会について

別紙1 120周年功労者表彰および記念事業について

《議事》（敬称略）

1. 前回議事録確認〔資料1〕（船木）

- ・原案通り承認された。

2. 報告事項

(1) 代議員・常議員候補者届け出状況（事務局）

- ・届け出は11/30〆切りだが、14日時点ではまだ改選人数分に達していない。

(2) 東北建築作品発表会報告（事務局）

- ・10/1に仙台メディアテークスタジオシアターで開催され、参加者は約180名であった。

(3) 2006年度日本建築学会設計競技支部審査員の報告〔資料2〕（事務局）

- ・現時点で5名中3名が選出された。残り2名は部会からの推薦待ちの状況である。11/18〆切なので、事後承認とすることで了承された。

(4) 9,10月会計報告〔資料3〕（横山）

- ・原案通り了承された。

(5) 120周年功労者表彰候補者推薦について〔別紙1〕（事務局）

- ・別紙1の条件では該当者なしで報告する。

3. 審議事項

(1) 支部研究報告会募集要項について〔資料4〕（学術・事務局）

- ・11月末までに決める必要がある。
- ・電子投稿については継続審議になっているままであるが、今後どうするのか学術担当で検討して提案して欲しい。
- ・収支を改善するために、掲載料と発送料を見直し、下記のようにする。論文掲載料は研究報告集1冊贈呈分こみの金額である。参加費を徴収するのは学生が参加しにくくなるので避けたい。
論文掲載料（2頁と4頁が同一料金なのは、4頁が基本のため）

頁数	論文掲載料	別刷料金（100部あたり）	
		300部以下	300部を超える分につき
2	6,000円	2,000円	1,000円
4	6,000円	4,000円	1,000円
6	9,000円	6,000円	1,000円
8	12,000円	8,000円	1,000円

送料

口数	送料
1～2	600円
3～5	900円
6口以上	1,200円

(2) 次期作品選集選考委員の選定について [資料5] (事務局)

- ・まず退任者に聞いてもらう。地域的なことを考慮して選定して欲しい。

(3) 120周年記念事業について [別紙1] (支部長)

- ・現時点では、山形県の南陽市から問い合わせが来ている。
- ・社会文化担当で該当する自治体がないか検討して欲しい。

(4) みちのくの風 2006 秋田について [資料6] (船木)

- ・11/2に山田・船木と秋田支所で打ち合わせを行った。
- ・研究支部報告会 担当：学術。招待講演の講演者を2名あげていただきたい。会長基調講演は会長日程が1月にならないと決まらないのでそれ次第となる。
- ・パネルディスカッション 担当：山田（総務）・秋田支所。1月の常議員会までに原案を作成していただきたい。
- ・東北建築賞表彰式 担当：込山。山形では簡略化した但不評だった（昨年度までは全員壇上にあげて、自ら説明してもらっていたが、今回は代表者のみで、審査員から講評してもらった）ので、見直して欲しい。ただし1日目の午後にしか実施できない。今度は会長の基調講演と懇親会もあるので、時間はあまりかけられないと思う。
- ・東北建築賞受賞作品展示会・JIA作品展 担当：込山（秋田支所と連絡をとって調整してほしい）。
- ・懇親会 担当：秋田支所（当日受付・会計は大野（総務）・事務局）。
- ・プログラムを2月には確定させたい。そのため、1月の常議員会に招待講演者やパネリストの名前を出して欲しい。招待講演者は研究報告会の一環なので、一般のPDや講演会に出てくるような人ではなく、研究報告会の出席者を対象とした人を選んで欲しい。旅費を出すので東北以外からでも可。

(5) 2006年度総会について [資料7] (事務局)

- ・メディアテークで懇親会の規模を縮小して行う方向で検討する。社会文化担当で、付随行事を行うかどうか検討して欲しい。

以上

《次回の予定》

総務会 1/19(木) 13:00-15:00
常議員会 1/19(木) 15:00-17:00